

令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備“に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備“に取り組む	✓
昨年度までの“環境整備“を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備“と“支援チーム派遣(事業化支援)”を受けて引き続き今年度事業化に取り組む	

活動団体名：鶴岡市三瀬地区自治会

活動地域：山形県鶴岡市

三瀬（さんぜ）イズム

～住むを楽しむコミュニティ～



活動団体紹介

◎山形県鶴岡市

人口 123,146人(2021年3月末)
海山川里が全国第10位の広大な
自治体面積の中に広がる

◎鶴岡市三瀬地区

人口 1,297人 (2021年3月末)
海山川里が半径1 km内にそろろう。鶴
岡市のちょうど100分の1!?

◎活動地域にある地域資源

豊富な森林資源と紐づく文化
海山川里と紐づく伝統芸能や建築、生
活などの文化
日本唯一ユネスコ「食文化創造都市」
に登録される食文化
濃密なコミュニティ (自治組織)

三瀬地区HP

<https://sanze.net/>

リアルローカルやまがた

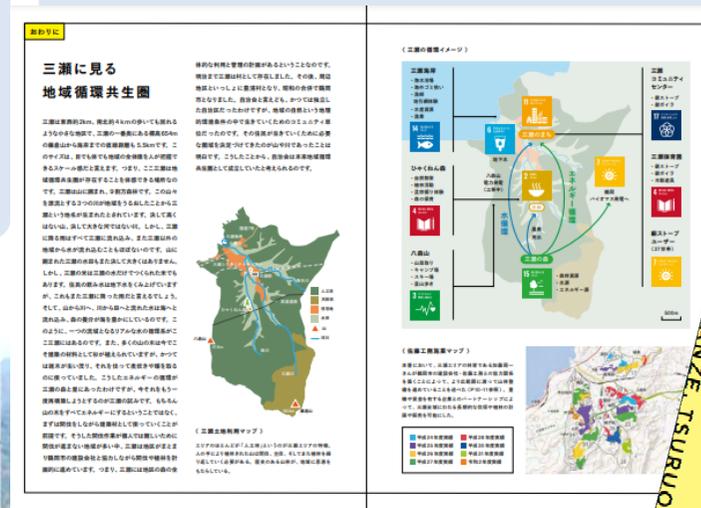
<https://www.reallocal.jp/yamagata>

◎現状から考える鶴岡市の課題

人口減少が加速度的 (毎年1500人減)
域外化石燃料流出額186億円
自然エネルギーポテンシャル域内使用の12倍以上
市への民間消費流入26億円 消費の約0.7%と低調

◎地域循環共生圏構築を通じて、具体的に解決しようとする課題

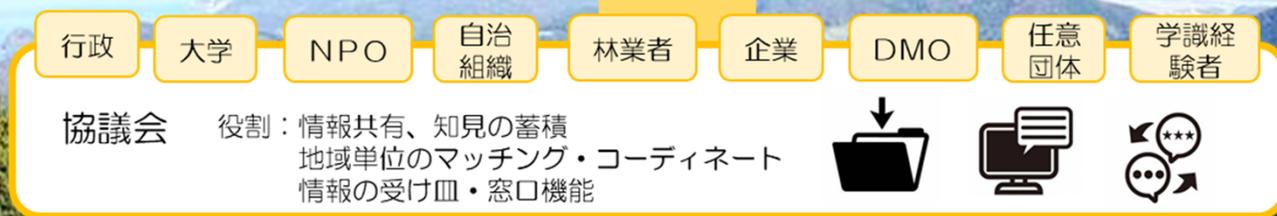
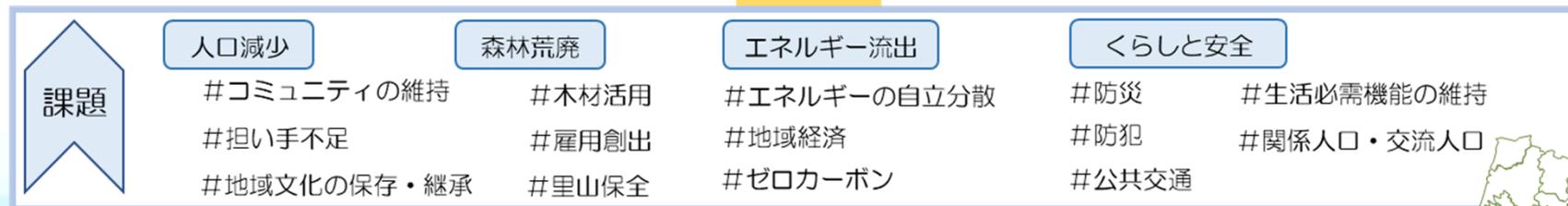
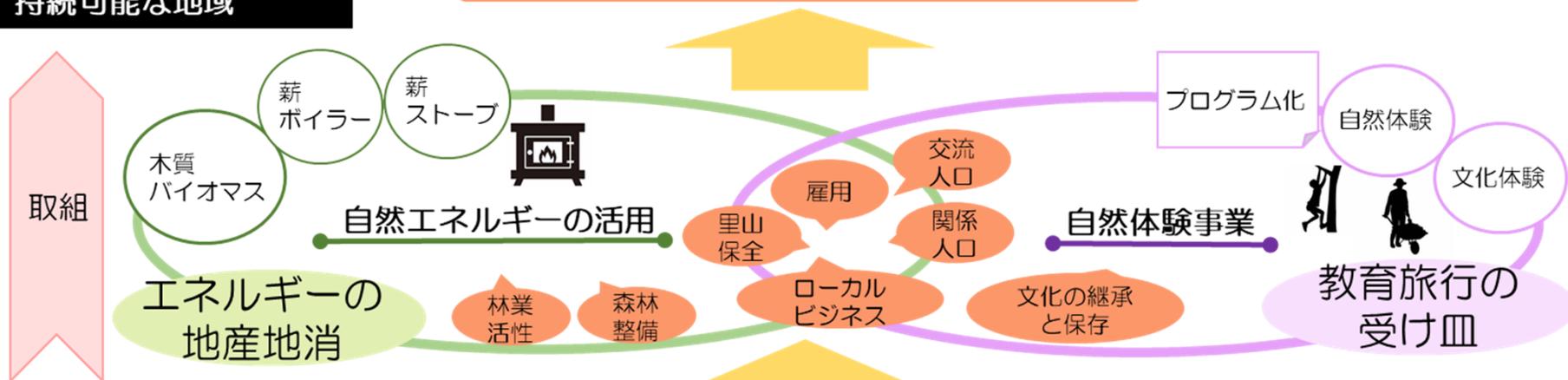
森林資源のエネルギー活用による山林適正管理と
地域内経済循環
海山川里を生かした自然体験による住民の住み続
ける理由 (プライド) 再認識と交流人口関係人口
の獲得



現時点での地域版マンダラ

地域の資源を活かして
担い手が活躍する
持続可能な地域

持続可能な暮らし続けられる地域



ありたい地域の未来を実現するために何をするか

ありたい地域の未来

持続可能な暮らし続けられる地域【三瀬イズム～住むを楽しむコミュニティ～】

ありたい地域の未来を達成するために、中長期的に見て必要な取組や仕組みは何か

<環境的視点>

- ☆【三瀬】薪ストーブ等導入件数UP
- ☆自然エネルギー活用地域協議会設立と運用
- ☆エネルギー自給率増加
- ☆化石燃料流出額の抑え込み

<社会的視点>

- ☆人口維持施策(社会減対策)
- ☆移住者の増加

<経済的視点>

- ☆【三瀬】地域内経済循環(流出減)
- ☆自然体験事業者プラットフォーム設立と運用(都市部との連携)
- ☆観光客入れ込み数増加
- ☆民間消費流入額の増加

今年度取り組みたい事業のタネや取組み(本事業でチャレンジしたい事)

- ・地域内でのエネルギーの自給自足を推進。地域間協議会を作り、情報共有。主に自治組織が担い手。
- ・地域内から出る自然エネルギーを使う出口の確保。特に公共施設で積極的な利用を促進する。一般家庭も啓発。
- ・地域の自然資源、文化資源を活用し交流人口・関係人口を増加。都心部からの資金的・人的資本を循環させる。
- ・自然文化を活用する担い手のクオリティや提供価格等を平準化する組織を作る。ある程度一元的な誘客を図る。
- ・地域間交流をベースに災害対応や減災のしくみ構築。大雪なども含む災害時の近場での共助機能の検討。

ありたい地域の未来を実現するために何をするか

令和2年度に実施のワークショップ・意見交換・勉強会を踏まえ

森林資源活用

→ 地域ごと課題や取り組みが多岐にわたる

- それぞれの地域、知らないことが多い共有・発信を
- コロナ禍だからこそ近い庄内地域でリアルな交流を
- それぞれの地域での取組・実績等の知見を蓄積
- 森林にとどまらず持続可能な地域の暮らしを模索
- 課題を庄内広域で考える仕組み・場所を構築

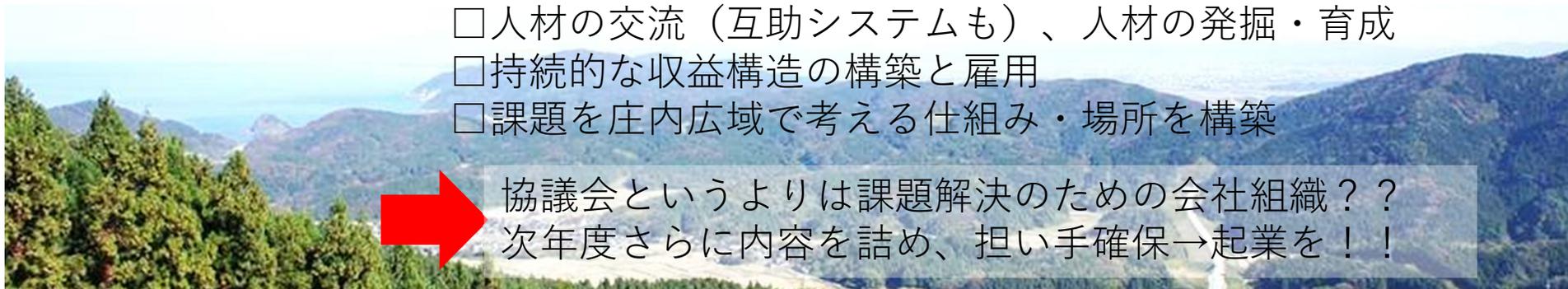
→ まずは自然エネルギーを切り口に地域間交流を。
持続可能な地域になるため課題解決する協議会を設立。

自然体験

→ すでに活動が活発で課題が明確。

- プログラムの整理、内容充実
- 発信の一元化、受信の一元化、営業力強化
- 人材の交流（互助システムも）、人材の発掘・育成
- 持続的な収益構造の構築と雇用
- 課題を庄内広域で考える仕組み・場所を構築

→ 協議会というよりは課題解決のための会社組織??
次年度さらに内容を詰め、担い手確保→起業を!!

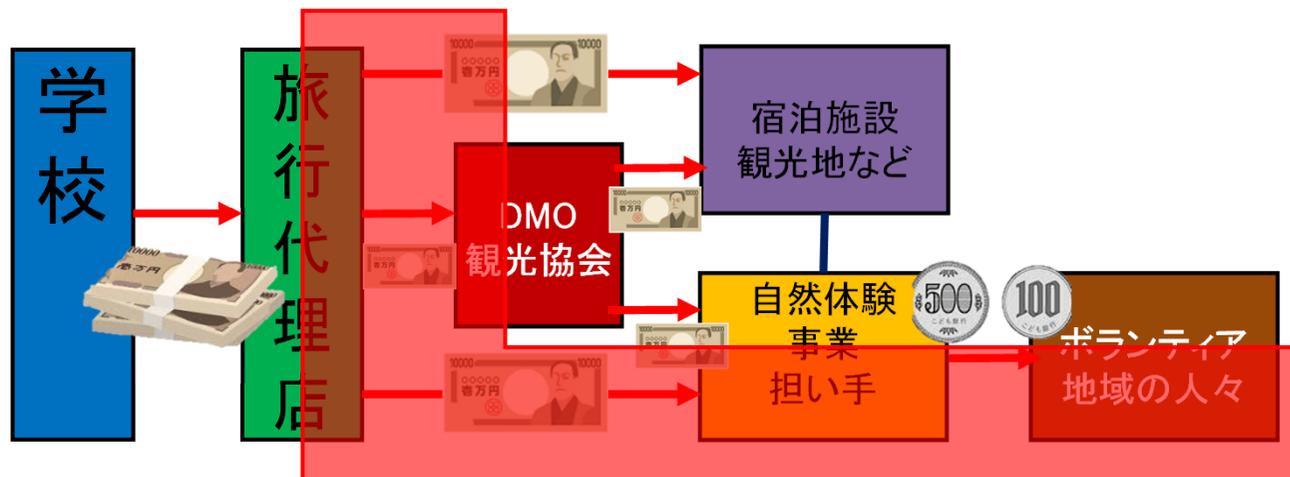


ありたい地域の未来を実現するために何をするか

自然体験新会社のイメージ

自然体験事業

例えば教育旅行・・・



<当面の課題>

- ☆スタート資金
- ☆当面取り仕切る人材
- ☆旅行業登録（3種でもよし）

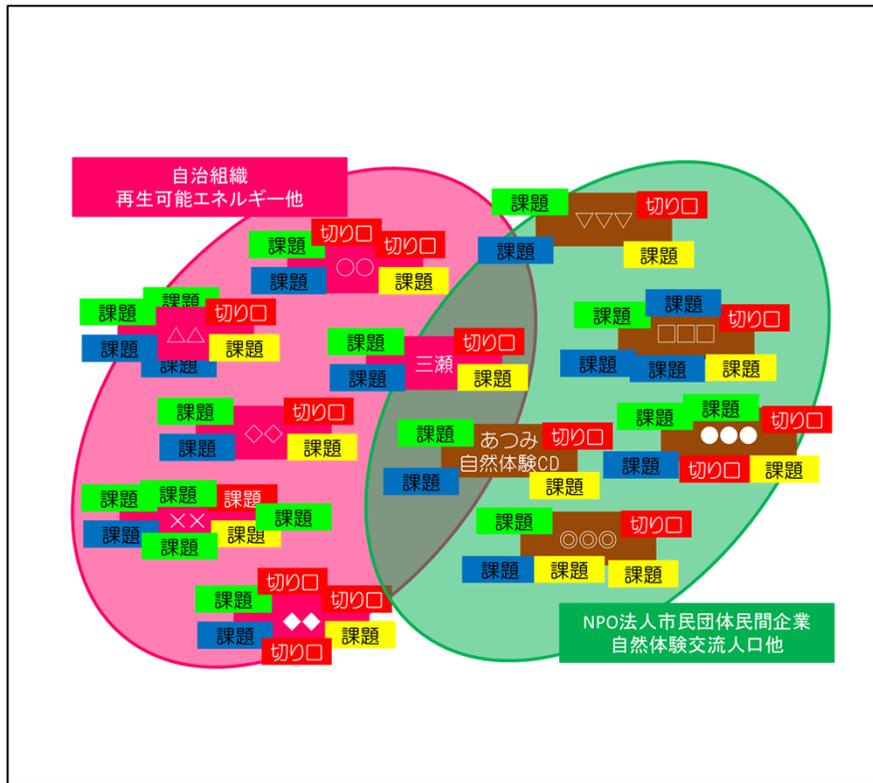
新会社がやる！

- プログラムの整理、内容充実
- 発信の一元化、受信の一元化、営業力強化
- 人材の交流（互助システムも）、人材の発掘
- 持続的な収益構造の構築と雇用
- 課題を庄内広域で考える仕組み・場所を構築

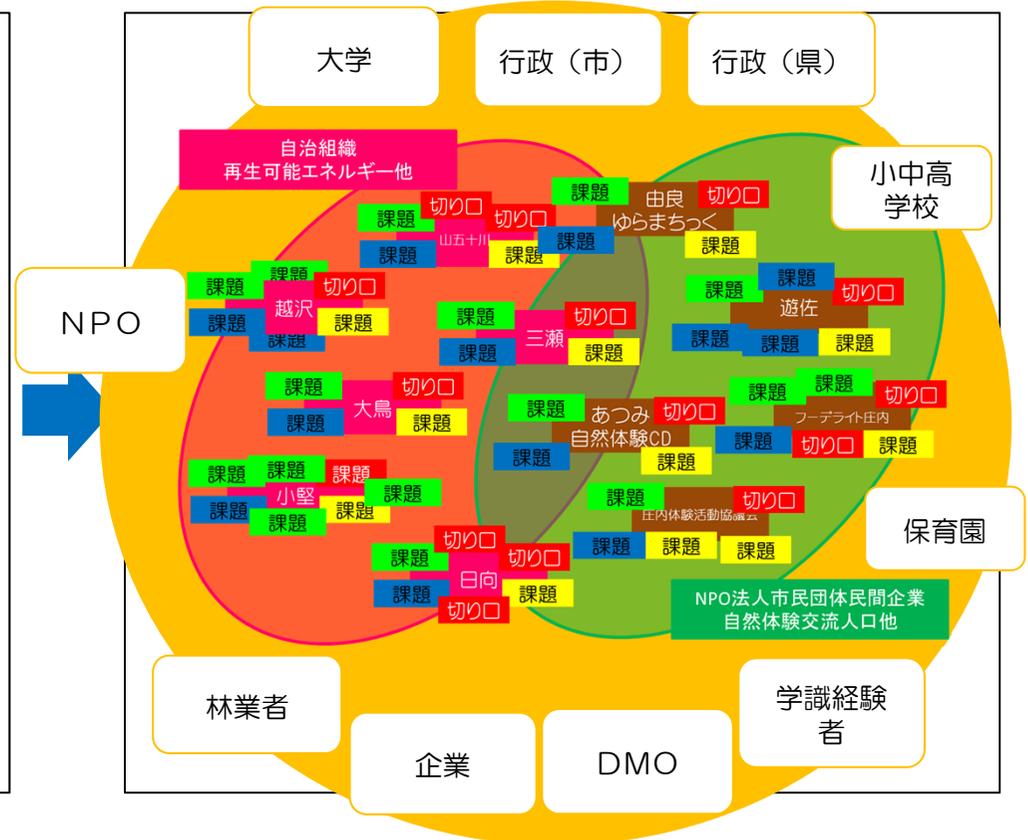


目指す"地域プラットフォーム"のイメージ

2020年4月頃の地域プラットフォームの状況



2021年6月現在の地域プラットフォームの状況



より強化したい地域プラットフォームの機能

- ・【森林資源活用】森林資源活用ハード整備(ボイラー、ストーブの導入施設)
- ・【自然体験】旅行業者(資格取得)、金融機関



年間スケジュール（参考資料）

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体予定			◆キックオフミーティング ← 協定締結（活動予算執行開始）			→ 現地意見交換会			◆中間報告会 ◆中間報告書提出期限		◆活動団体成果報告書提出	◆成果報告会
具 体 的 な 活 動	全体会議			上旬 第1回全体会議							2月上旬 第2回全体会議	
	自然エネルギー			再エネクレジット勉強会	視察？	自然エネルギー 会議意見交換会	自然エネルギー 会議意見交換会	山の感謝祭	三瀬地区資源状 況確認会議		協議会設立？	
	自然体験	事業化検討	事業化検討	事業化検討	自然体験会議意 見交換会			山の感謝祭	自然体験会議意 見交換会	視察？	会社立ち上げ？	
	防災					防災意見交換会	防災意見交換会					

